

令和5年産 麦作情報 (Vol.1)

令和4年12月23日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/



今後のポイント:排水対策, 麦踏み, 雑草防除

1 気象経過 (10月以降)

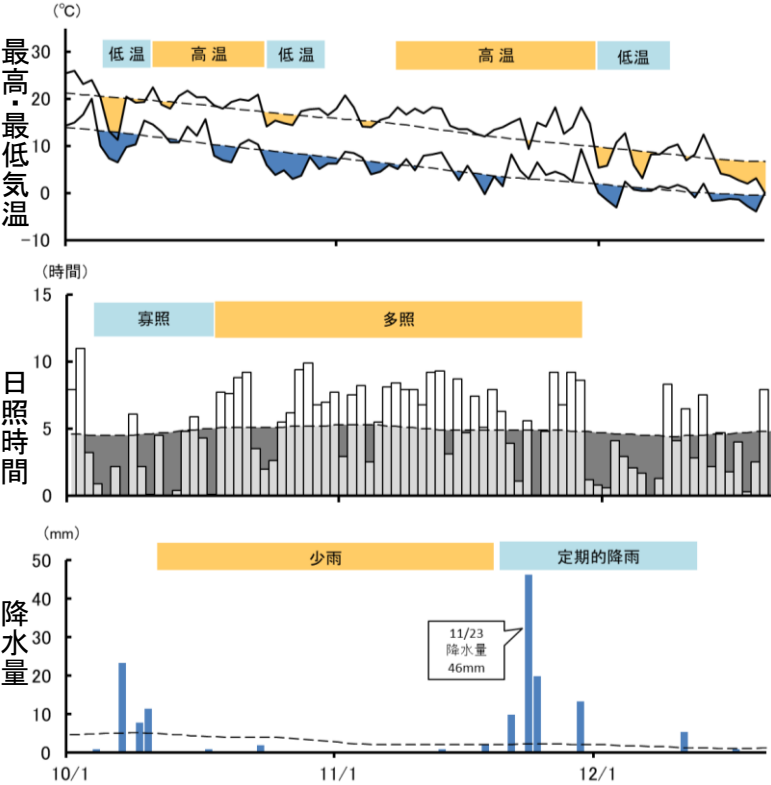


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量, 点線は平年値

◆気象経過

- ・平均気温…10月はやや低く(平年差-0.7°C), 11月は高く(平年差+1.7°C)経過しました。
- ・日照時間…ほぼ平年並みでしたが, 10月中旬から11月中旬にかけて多照でした。
- ・降水量…10月はかなり少なく(平年比35%), 11月は後半に降雨があったためやや多くなりました(平年比152%)。特に, 10月11日から11月17日にかけての累計降水量は4.5mmと, ほとんど降雨がありませんでした。

◆1か月予報(12/17~1/16)

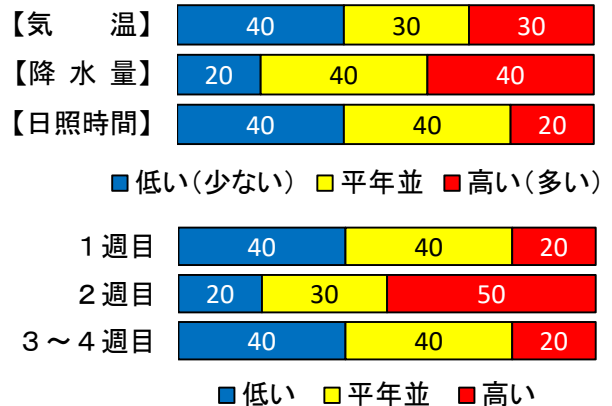


図2 季節予報(12/15気象庁発表)

※上図:1か月の気温, 降水量, 日照時間予報, 下図:週ごとの気温予報

2 生育調査ほの生育状況(12月15日現在)

- ◆播種日は, すべての調査ほ場で平年より早くなりました。
- ◆草丈は, 調査した5ほ場で平年を上回っています。前年よりは短い傾向です。
- ◆茎数は, 調査した6ほ場すべてで平年を上回っています。前年よりは少ない傾向です。
- ◆幼穂は, 調査した6ほ場すべてで確認されました。

幼穂あります。

表1 生育調査ほ12月15日調査結果

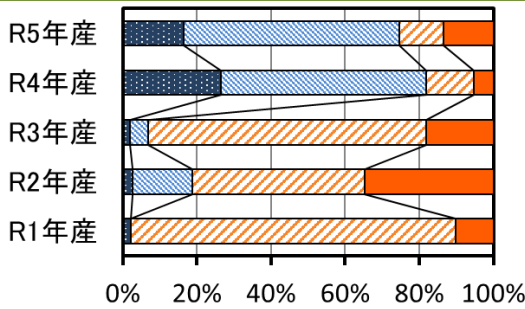
品種	調査ほ(旧市町)	条間(cm)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取(桃生)	30.2	10/07	-3日	-14日	13.9	-5.2	+2.2	652	75%	140%	1.6	-0.0	+1.1
ミノリムギ	高須賀(桃生)	28.9	10/15	-7日	-10日	13.0	-1.3	+0.8	577	160%	213%	0.1	-0.6	-0.2
	真野(石巻)	30.8	10/25	+2日	-4日	11.9	+1.7	+3.3	415	91%	147%	0.0*	-0.1	-0.0
ホワイトファイバー	水沼(石巻)	29.6	10/15	-3日	-9日	11.4	-4.5	-0.0	443	54%	88%	0.2	-0.5	-0.2
シラネコムギ	小船越(河北)	24.9	10/16	+6日	-21日	17.5	-6.8	+9.0	1004	91%	323%	0.1	-0.1	+0.1
	櫻崎(桃生)	29.8	10/27	-4日	-2日	14.3	-0.7	+3.3	230	48%	62%	0.0*	-0.0	-0.1

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い, -は早いことを示す

※ ホワイトファイバー(水沼)は調査5年目のため, 平年差・比は過去4か年の平均値との比較

※ 幼穂長は9茎の平均で, ミノリムギ(真野)0.04mm, シラネコムギ(櫻崎)0.01mm。幼穂がある茎が確認された

3 石巻管内の麦類播種状況



◆播種期

10月までに播種作業を行ったほ場が多くありました。10月中旬から11月中旬にかけて降雨が少なく、作業が順調に進みました。

■ 10月中旬まで ■ 10月下旬 ■ 11月上旬 ■ 11月中旬以降

図3 石巻管内(石巻市, 東松島市)の直近5年間の播種状況

4 今後の管理

(1) 排水対策

◆排水状況を確認し、手直しをしましょう

出芽～生育初期の麦類は湿害に弱いので、融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。暗きよが閉じているほ場がないか、再点検しましょう。また、明きよに停滞水が溜まっている場合は手直しを行いましょ。

◆明きよを施工しましょう

ほ場内に明きよをつくることにより降雨や融雪水の迅速な排出、および地温が上昇することで、コムギの初期生育が良好となることがわかっています(図4)。

逆に、出芽後期から分けつ期にかけて湿害を受けると、根の伸長抑制による浅根や分けつの減少、葉の黄化が起こり、生育不良になります。

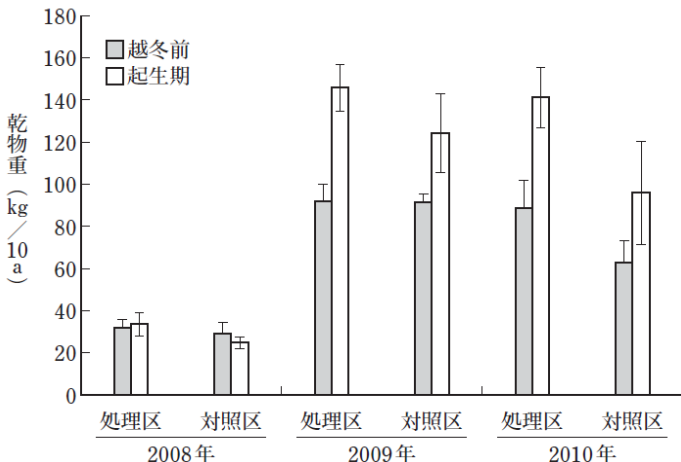


図4 ほ場内明きよの形成がコムギの初期生育に与える影響 (道総研中央農試)

※ほ場内明きよ処理区および未処理の対照区における越冬前から起生期にかけてのコムギの乾物重の結果

(2) 麦踏み

○ 麦踏みの時期と回数目安

3～4葉期に1回 + 越冬後茎立ちまで(大麦:3月上旬頃, 小麦:3月下旬頃)に1～2回。

◆「生育が遅れている(3葉期未満)」「生育不良」「ほ場が湿っている」際には、無理に麦踏みを実施すると逆効果になる場合があります。麦の生育とほ場の状態を見ながら実施しましょう。

◆R4年産では、冬季に土が凍み上がり、株が浮き上がって根元が地表に出たため、枯死や生育不良となったほ場が一部で見られました。砂の割合が多いほ場(土が持ち上がりやすい)、排水不良のほ場では、寒さが厳しくなる前(年内)に、生育ステージに関係なく麦踏みを強行する判断が必要になる場合もあります。

麦踏みの効果

- 【株の踏圧】→ 分けつ発生促進, 深根化・倒伏軽減, 生育の均一化
- 【土壌の踏圧】→ 凍上害(霜や凍結による麦の持ち上がり)や干害の防止

麦踏みは ほ場が乾いているときに実施しましょう

麦踏みを土壌が湿っているときに行うと、土壌が固く締まった状態となって、生育不良の原因となります。ほ場が乾かない場合は、無理に麦踏みを実施する必要はありません。

(3) 雑草対策 ～雑草は追肥の効果を小さくし、また病害虫の発生を助長します～

雑草多発ほ場では除草剤散布を検討しましょう。今は小さくても大きくなります。小さいうちに防除しましょう。